

救急救命処置の先行的な実証

令和5年8月9日・国家戦略特区WG
厚生労働省提出資料

救急医療の現場における医療関係職種の在り方に関する検討会 ワーキンググループ設置について

令和5年8月7日「救急医療の現場における医療関係職種の在り方に関する検討会(第4回)資料」

- 「救急医療の現場における医療関係職種のあり方に関する検討会」における令和4年度とりまとめにおいて、救急救命士法改正により、病院前での実施を前提としてきた救急救命処置の病院内での運用における課題が見えてきたことや、救急医療の質の向上に向けて、救急救命処置の範囲の拡大についての要望があることから、医師の指示の下に救急救命士が実施する救急救命処置に関して、安全性、必要性、難易度、必要となる教育体制等について今後検討を行うこととされた。
- 救急救命士による救急救命処置については、「救急救命処置検討委員会」（平成27年～令和2年）において、要望・提案があった処置について、安全性、必要性、難易度、必要な教育体制等の視点から、救急医療分野の有識者が評価を行い、新たな救急救命処置の候補が検討されていた。
- 令和3年10月に施行した救急救命士法改正により救急救命士の活動の場が広がったことから、救急医療においては、より一層の多職種連携が必要になり、救急現場及び搬送途上のみならず医療機関内に至る救急医療を一体的に議論するため、救急医療を担う多職種が参画し、救急救命処置に関する専門的な議論を行うワーキンググループを設置してはどうか。

(検討事項) 医師の指示の下に救急救命士が実施する救急救命処置の検討について

(構成員) 別紙

「救急医療の現場における医療関係職種の在り方に関する検討会ワーキンググループ」が設置

救急医療の現場における医療関係職種の在り方に関する検討会 ワーキンググループ構成員

構成員一覧（敬称略。五十音順）

氏名	現職
浅香 えみ子	一般社団法人日本救急看護学会 理事
井本 寛子	公益社団法人日本看護協会 常任理事
植田 広樹	一般社団法人日本臨床救急医学会 評議員
加納 繁照	四病院団体協議会
喜熨斗 智也	一般社団法人民間救命士統括体制認定機構 理事
児玉 聡	京都大学 文学研究科 思想文化学専攻思想文化学講座 教授
佐々木 隆広	仙台市消防局 救急課長
田邊 晴山	一般財団法人救急振興財団 救急救命東京研修所教授
深澤 恵治	千一ム医療推進協議会 理事
細川 秀一	公益社団法人日本医師会 常任理事
本多 英喜	一般財団法人日本救急医学会 評議員
横野 恵	早稲田大学 社会科学総合学術院 社会科学部 准教授

救急医療の現場における医療関係職種の在り方に関する検討会 ワーキンググループ 検討内容および今後の進め方

検討内容

- 救急救命処置検討委員会からの継続事項
- 令和3年の救急救命士法改正後に生じた課題(救急救命士が病院内で勤務するにあたっての課題)
- 消防機関以外に勤務する救急救命士の、特定行為の認定や生涯教育等のメディカルコントロールのあり方について
- 規制改革実施計画・特区要望に関する事項 等

※ 座長及び事務局が議題を選出

開催日程と今後の進め方

- 第1回を令和5年8月下旬に開催予定
- 第2回以降の場合(第1回の後速やかに開催予定)において、エコー検査を含む新しい処置の要望・提案について、安全性、必要性、難易度、必要となる教育体制等の視点から検討を行う

岡山大学・吉備中央町との打ち合わせ

○ 令和5年6月26日 15:30～17:00 (オンライン)

○ 出席者

岡山大学 那須 保友 学長(吉備中央町アーキテクト)

牧 尉太 医師(同アーキテクト補佐)

同大学特任教授

救急科担当医師

厚生労働省医政局地域医療計画課 災害等緊急時医療・周産期医療等対策室

内閣府 地方創生推進事務局

○ 厚生労働省からの指摘事項

- ・ 具体的にどのような病態及び疾患が想定される、どの重症度の傷病者を対象とするか
- ・ 救急救命士が搬送途上にエコー検査を行うことにより、搬送傷病者の予後が改善したとする、海外におけるエビデンスの有無
- ・ 実際に対象となりうる傷病者及び、当該行為により恩恵を受ける可能性のある傷病者数の推計
- ・ 救急救命士が当該行為を実施するにあたりどのように質を担保するのか
- ・ 救急救命士の業務負荷についての検討 等